

九工大情報工学部「e-car」 飯塚市



とも互角に戦えた」と手応えを感じる。
2009年に九州工業大情報工学部(飯塚市)の学生サークルとして発足。現在は学部生と院生計15人が週に1、2回集まり、中古

夢のEVへ改良重ね

24、25日に愛媛県で開かれた電気自動車(EV)の全国大会「四国EVフリー」。2日間の総走行距離を競う200km以下の部門に出場し、初出場だった昨年の記録を上回る110kmを走った。一騎打ちとなった広島県の学生チームには僅差で敗れたが、部長の末重好章さん(22)は「車の電池容量が3倍以上の相手

車のガソリンエンジンを取り外してモーターや電池を搭載するなど独自のEV開発に取り組み。
昨年の「四国EVフリー」に出場したEVは走行中にモーターが高温になることが課題だった。このため、今回は冷却用のファンを設置するなどの改良を実施。最高速度も前回より30km/hの時速80km/hまで向上させる

ことに成功した。
将来の目標は自動運転も可能なEVの製作。現在は設計段階で「後輩に引き継ぎながら実現させたい」。
メモ サークル名の頭文字は「EV」「エコ(e co)」「IIZUKA(いつか)」などになむ。
車検に合格したEVはキャンパス周辺の公道でも実験走行している。(中野慧)



EVの改良に取り組む九州工業大情報工学部の学生サークル「e-car」のメンバーたち